

市民すべてが暮らしやすいと実感できる、魅力あふれる「さくら市」を目指して



さくら市 議会だより

No.

82

2025.8.20

Sakura city council



Contents

- 議長挨拶・議会の構成 2
- 令和7年第2回・第3回 臨時会 3
- 令和7年第2回 定例会 4
- 各常任委員会（総務・文教厚生・建設経済） 5~7
- 一般質問 ここが聞きたい 8~14

- 先進地に学ぶ（総務・文教厚生・建設経済）... 15~17
- 議会レポート・議会の動き 18
- どうなったんべあの質問は 19
- 市民の声・次回の定例会の予定 20



第2回 臨時会

基金の整理

令和7年第2回臨時会が4月30日に開催され、岡村浩雅議長、加藤誠一副議長が就任しました。専決処分の承認を求める議案4件を原案通り可決し、報告1件を受けました。

上程された主な議案

議案第1号 **〇〇ピックアップ**
専決処分の承認を求めることについて
(さくら市税条例の一部改正)

軽自動車税種別割の税率に新基準原付(125cc以下かつ最高出力4kw以下の原動機付自転車)を新設するもの。
ほか。

議案第4号 **〇〇ピックアップ**
専決処分の承認を求めることについて
(令和6年度さくら市一般会計補正予算(第9号))

予算額に3億3,412万3千円を追加し、予算の総額を255億5,300万8千円とするもの。
歳出の主なものは、基金積立事業費2億4,834万1千円。

岡村浩雅議長・加藤誠一副議長 就任

議長就任の挨拶

この度、さくら市議会議長に就任しました岡村浩雅です。
中村新市長のもと新たなスタートを切るさくら市政においてより市民の声、市民に寄り添った政策が必要です。二元代表制の下お互い切磋琢磨し、よりよい政策が実現できるよう全力で働いて参ります。
これからもご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



さくら市議会議長 岡村浩雅

議会の構成 (令和7年4月30日～令和8年11月30日)

岡村議長就任により議会内部の人事に変更がありました。

◎委員長 ○副委員長
議員定数 18名(欠員1名)

議長 岡村 浩雅
副議長 加藤 誠一

議会運営委員会

◎渋井 康男 若見 孝信
○石岡 祐二 鈴木 恒充
永井 孝叔 角田 憲治

議会広報委員会

◎加藤 誠一 永井 孝叔
○大河原 千晶 若見 孝信
落合 千枝子 石岡 祐二
福田 克之 角田 憲治
加藤 朋子

常任委員会

総務

◎石岡 祐二
○大河原 千晶
高瀬 一徳
加藤 朋子
鈴木 恒充
小堀 勇人

文教厚生

◎落合 千枝子
○角田 憲治
岡村 浩雅
永井 孝叔
手塚 定

建設経済

◎若見 孝信
○渋井 康男
加藤 誠一
吉田 雄次
福田 克之
矢澤 功

予算決算

◎小堀 勇人
○大河原 千晶
他15名

塩谷広域行政組合議会議員 岡村 浩雅・大河原 千晶・石岡 祐二・鈴木 恒充・角田 憲治

参加者
募集!

議会報告会のお知らせ

日時 10月20日(月) 午後6時30分～8時00分

場所 喜連川公民館

内容 議会からの報告および意見交換 ※事前申込制
詳細はホームページをご覧ください。
問合先 議会事務局 ☎028-681-1123



詳細はこちら

第3回 臨時会

新市長所信表明

令和7年第3回臨時会が5月22日に開催され、中村卓資^{たかし}市長が所信表明を行いました。令和7年度一般会計補正予算等の議案3件を原案通り可決しました。

上程された主な議案

議案第1号 令和7年度一般会計補正予算(第1号)

予算額に822万2千円を追加し、予算の総額を238億8,822万2千円とするもの。
歳入では、国庫支出金、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(低所得世帯支援枠等)を計上するもの。



議案第3号 財産の取得について

児童・生徒及び教職員用タブレット端末を2億4,132万2,400円で取得するため、議会の議決を求めるもの。



取得するタブレット端末

「さくら市ホームページ」
さくら市議会▶臨時会



臨時会QRコード

●会議結果・賛否の公表については市HPをご覧ください。

「さくら市ホームページ」
さくら市議会▶定例会



定例会QRコード

第2回 定例会 物価高騰対策

令和7年第2回定例会が6月5日から6月20日まで開催され、令和7年度一般会計補正予算等の議案11件、諮問1件、追加議案1件を原案通り可決、同意し、報告5件、追加報告1件を受けました。

上程された主な議案

議案第9号 令和7年度一般会計補正予算（第2号）**〇〇ピックアップ**

予算額に1億1,374万2千円を追加し、総額240億196万4千円とするもの。

地元応援キャッシュレスポイント還元事業費



PayPayを利用したポイント還元事業を実施するもの。

4,561万6千円

農業用資材等高騰対策事業費

農業用資材等の価格高騰により増大する経費負担の軽減を目的として、市内の農産物販売農家に対し助成金を交付するもの。



2,741万8千円

土地利用型園芸産地新たなチャレンジ支援事業費補助金

露地野菜産地の規模拡大を図るため、機械・施設の導入に対し支援するもの。



1,568万9千円

運送事業者等原油価格高騰対策事業費

原油価格高騰の影響を受けている運送事業者等に対して助成を行い、事業継続、経営安定化を支援するもの。



1,000万円

議案第4号 **〇〇ピックアップ** さくら市税条例の一部改正について

地方税法の改正に合わせて個人住民税の控除等見直しなどの改正を行うもの。
【令和8年1月1日施行】

追加議案第1号 さくら市給食センター新築工事（建築工事） 請負契約の変更について

さくら市給食センター新築工事（建築工事）の契約金額を9,746千円増額し、11億1,597万2千円とするもの。

人権擁護委員候補者の推薦

〇渡邊 幸雄 氏（葛城）

総務常任委員会

◎石岡 祐二 ○大河原 千晶
高瀬 一徳・加藤 朋子・鈴木 恒充・小堀 勇人

議案第1号 さくら市名誉市民条例の制定について

可決

Q このタイミングで、名誉市民を推挙する必要がなぜ出てきたのか。

A 市制20周年の記念事業を機に検証し、さくら市として名誉市民にふさわしい方を改めて推挙するため。

現地調査

●旧栃木銀行喜連川出張所
●栃木SC練習拠点施設

●喜連川給食センター



栃木SC練習拠点施設



栃木SC練習拠点施設グラウンド

所管事務調査 monaca(複合交流拠点施設)を核としたにぎわいの創出について

真岡市では、真岡市役所新庁舎整備に合わせ、子育て世代へのサービスの提供や交流を促進、にぎわい創出を目的とした交流拠点施設の整備した。図書館や子どもの遊び場に加え、子育てサロン機能も持つ複合施設として令和7年4月26日にオープンし、開館80日目には来館者10万人を達成した。現在、平日は約1,000人、休日は1,500人程度の来館者がある。本市においても人口減少が進み、移住定住施策や少子化対策が課題となっている。このような状況の中、子どもから高齢者まで多くの人が訪れ、自宅や職場、学校とは違う第三の居場所として人々がつながり、交流できる施設があれば、市の更なる魅力向上へつながると感じた。



もおかっ子テラス



もおかっ子広場

文教厚生常任委員会

◎落合 千枝子 ○角田 憲治
岡村 浩雅・永井 孝叔・手塚 定

議案第2号 さくら市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について 可決

【概要】 児童福祉法の改正により新設された乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の実施にあたり、条例の制定を行うもの。

Q 私立の園が実施を希望した場合、認定は市が行うのか。
A 私立の園の場合、園から設備や運営に関する基準を示してもらい、市が審査したうえで認定を行う。

議案第5号 さくら市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部改正について 可決

【概要】 宅地造成及び※特定盛土^{もりど}等規制法の施行に伴い、同法と重複する災害発生防止関連の規制内容を整理するなど、所要の改正を行うもの。

Q 災害防止の盛土の規制がさくら市では3,000㎡まで規制できたが、改正により500㎡以下になる。県の許可で認可した大規模な開発の埋め立てを市は事前に把握しているのか。

A 県に申請があった場合、市に意見が求められる。市は事前に把握している。

※特定盛土とは…宅地又は農地等において行う盛土その他の土地の形質の変更で、当該宅地又は農地等に隣接し、または近接する宅地において災害を発生させるおそれが大きいものとして政令で定めるものをいう。

現地調査 ●氏家体育館(トレーニング室) ●喜連川体育館(トレーニング室)
●たいよう保育園(こども誰でも通園制度実施予定園) ●さくら市学校給食センター(工事現場)



氏家体育館(トレーニング室)



喜連川体育館(トレーニング室)



たいよう保育園(こども誰でも通園制度実施予定園)



さくら市学校給食センター(工事現場)

建設経済常任委員会

◎若見 孝信 ○渋井 康男
加藤 誠一・吉田 雄次・福田 克之・矢澤 功

議案第8号 さくら市下水道条例の一部改正について 可決

Q 現在の下水道使用料はどれくらいか。
A 現在の年間収入額は3億3千万円ほど。

Q 改定による収入増はどれくらいか。
A 改定により4千100万円～4千400万円の増額を見込んでいる。

議案第11号 土地改良事業の施行について 可決

【概要】 令和7年度に実施する^{やぶうちだめ}藪内溜防災工事(防災重点農業用ため池緊急整備事業)について、土地改良法の規定により、議会の議決を経て、土地改良事業の計画を定め行うもの。

Q 防災重点農業用ため池緊急整備事業で他の溜池における議会の議決予定は。
A 他のため池についても、今後、スケジュールに基づき順次上程していく。

現地調査 ●^{やぶうちだめ}藪内溜(鶯宿地内) ●市営もとゆ温泉(ボイラー)



^{やぶうちだめ}藪内溜(鶯宿地内)



^{やぶうちだめ}藪内溜(鶯宿地内)



市営もとゆ温泉(燃焼灰)



市営もとゆ温泉(ボイラー)



落合 千枝子 議員
Chieko Ochiai



YouTube

12 新給食センターオープンについて

Q 新給食センターオープンへの食材の確保状況について。

A 米や、JAに生産部会が組織されている品目については、確保の目途が立っている。

Q 給食用食材を100%さくら市産で賄う方策について。

A 令和5年度の学校給食に使用されているさくら市産野菜の使用割合は、48%となっている。使用割合を増やすため学校給食地産地消推進に関する補助金制度を導入するなど地元農産物の供給量の増加に向け取り組んでいる。



さくら市学校給食センター
マスコットキャラクター「さくらこ」

その他の質問

◆さくら市で※ラーケーションを取り入れる考えについて

※ラーケーション

ラーニングとパーケーションを組み合わせた言葉で、平日に学校を休み、保護者と一緒に校外で体験活動などを通じて学ぶ取り組み。



地域おこし協力隊の活動の様子

8 市長が考える、10年後の農業について

▶稼げるようになる農業のビジネス化を目指す

Q 農業ビジネス化への市長の具体的な考え方について。

A 収益性の高い作物への転換、農地の集約化を支援することによる付加価値の創出また、スマート農業による生産性の向上や省力化を目指す。

Q 10年後の集積による農業経営体の予想数について。

A 現時点で予測するのは困難な状況である。

Q 集積による農業経営体の変化について。

A 農業経営の効率化・省力化を図るため集積の拡大に努める。

Q 新地域おこし協力隊（有機農業希望者への支援策）について。

A 関係機関等と連携し支援を行っていく。



大河原 千晶 議員
Chiaki Okawara



YouTube

15 市長の考える、さくら市の農業は

▶生き残りをかけ10年、20年先の将来を見据えた施策の展開が必要

Q 市長公約の「稼げる農業」とは。

A 農作物のブランド化により、差別化を図り、販路が拡大する。そして6次産業として、食品加工や観光、宿泊業との連携などのビジネス展開が期待できる。

Q 農業の担い手確保は。

A 市外、特に首都圏からの移住による就農者の確保が重要と考え、市外イベントでPRしている。また、移住と就農をメニューとする地域おこし協力隊が、現在6名活動している。



地域おこし協力隊活動の様子

Q 農産物の消費促進をどう考えるか。学校給食との関連は。

A 「さくら市農産物売上向上対策総合支援事業補助金交付要綱」を改正し、「学校給食地産地消推進」に関する補助金を追加。学校給食用の野菜生産農家を増やすための取り組みを行っている。

Q 地元産野菜を使うと、収穫時期が限定され、食材の保存の問題が出てくる。保管管理は。

A さくら市の農地で学校給食用に農産物を生産し出荷してくれる方に対し、予冷库導入の補助金を交付する。



予冷库

Q 予算額と、補助金の詳細は。

A 予冷库の購入費用の50%、上限100万円。今年度17台分見込みで695万円の予算計上。また種子、種芋の購入費用70%、上限額20万円で、27万5千円を計上している。

Q 納品予定者は。

A 直売所などへの出荷実績がある農業者に声をかけている。

Q 実績のある方だけに作付面積を増やしてもらうのは、生産農家を増やすための取組みから外れる。また特定の方への依存は、事情により納品できない際リスクもある。これでは農業の促進に繋がらないのでは。

A 新規参入者にも協力してもらえらる仕組み、例えば、募った形で組合をつくり、その中で生産量を割り振る手法など検討する。



加藤 朋子 議員
Tomoko Kato



YouTube



市長公約を問う

▶ 様々な意見を聞いて、調査検討していきたい

Q 駅近くで一時保育サービスを提供する市営施設は。

A 現在進行中の氏家駅東地区魅力向上事業等との組み合わせも視野に入れ、調査研究していく。

Q 子育てモニター制度の内容は。

A 子育て世代からの意見を吸い上げる仕組みを作りたい。

Q 空き家バンクを活用したリフォーム費用の補助は。

A 空き家解体除去や移譲サポートも行う民間業者と提携を行った。



市ホームページ「クラッソーネ」

※マイコスDDSR

マイコス菌を用いた乾田直播。田起こし、育苗、移植、中干、水管理などの作業が省力化できるので労働時間7割減、機械設備費6割減、水田からのメタン発生量も9割削減できる。

※地力AI

衛星写真のデータをAIが解析して、地力診断による施肥、防除をサポートしてくれるシステム。世界18か国で導入。



持続可能な農業を目指すには

Q 本市の基幹産業農業は課題山積である。人手不足解消策としての農福連携は。

A 認定農業者へのアンケートで、44名が関心を示した。

Q 耕作放棄地対策は。

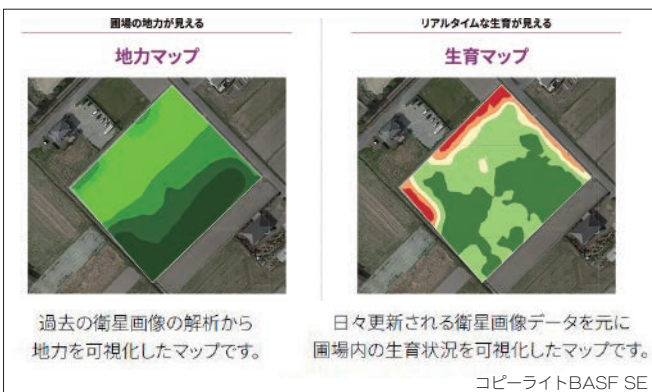
A 令和6年度調査で11.6haあり、「遊休農地解消事業」の成果が出ないので、更なる対策に努める。

Q 集団営農への取り組みは。

A 今後ますます進む担い手減少対策や、大型機械の共同利用のためにも、引き続き組織設立に向けた支援等を行っていく。

Q 農業DX、スマート農業への取り組みは。

A ※マイコスDDSR(乾田直播)、※地力AI、再生二期作等、省力化、機械整備費削減、環境負荷削減が図れる新技術については推進に向けて、視察、調査研究をしていきたい。



ザルビオ社の地力生育マップ